

# 茨城大学同窓会連合会会報

2007.2  
創刊号



国立大学法人茨城大学正門（水戸キャンパス）



理学部総合研究棟（平成15年12月25日竣工）



## 会長挨拶

茨城大学同窓会連合会会長  
室伏 勇  
平成18年9月30日、茨城大学  
同窓会連合会が発足しました。

5つの学部同窓会（文理・人文学部同窓会、理学部同窓会、教育学部同窓会、多賀工業会、農学部同窓会）の統合団体として設立されたのです。

まず最初の2年間を私が会長として会を代表することになりました。今まで以上にご支援、ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

大学の同窓会を一つにし、同窓会としての結束を高めるという構想は、茨城大学が法人化されるに伴い、現実性を帯びてまいりました。少子高齢化、大学全入時代の到来等々と相まって大学間競争が熾烈となり、大学に対する学生の魅力を高めるためにも、また社会連携事業などに当たって同窓生の役割に期待するうえにも、同窓会の一本化が望まれるようになりました。大学からの強い要請もあって、連合会構想は急速に実現しました。

学部の同窓会はそれぞれ独自に活動してきましたが、学部の垣根を越えた横断的かつ有機的な活動や茨城大学との連携は必ずしも十分とは言えませんでした。しかし、連合会が設立されたこれからは違います。学部同窓会と密接な交流、親睦を図りつつ、大学との連携協力も緊密にしていく考えです。

そして社会連携事業等にも積極的に役割を果たしていきたいものと思っています。切に皆様方のご協力をお願いする次第です。



## 学長挨拶

茨城大学長 菊池 龍三郎  
「茨城大学同窓会連合会」の設  
立記念式典が、橋本県知事をは  
じめとする多くのご来賓の方々、

さらに各界でご活躍の同窓の諸先輩のご出席のもとに平成18年9月30日に盛大に挙行されました。設立に至るまで種々ご尽力下さった各学部の同窓会長はじめ、関係者の方々に心からの謝意を表します。

また、室伏 勇初代会長はじめ役員の方々には、今後とも連合会の組織の充実、ひいては本学の発展にご支援下さいますよう切にお願い申し上げます。

これまで50数年にわたる本学の歴史は、実に各学部同窓会のご支援を抜きには語れません。法人化後は一層、国立大学にとって、どれくらい多くの同窓の方々にサポーターになって頂けるかが大変重要な課題となっております。一方、法人化後、同窓生の方々の大学に寄せる関心や期待は、出身学部の枠を超え、大学全体へと広がってきております。そのため、本学としても、卒業生全体との関係をより緊密にするためにも、同窓会連合会を組織して頂くことが必要であるとの認識を強くもっておりました。

その意味からも今回の連合会の設立は大変に時宜を得たものであると考えております。

来年度は法人化して四年目に入りますが、私達も前途に希望をもって着実に大学を発展させていきたいと考えております。今後とも同窓会連合会の皆様には、茨城大学の発展のために絶大なるご尽力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

## 「茨城大学同窓会連合会」を設立

平成18年9月30日に設立総会・設立記念パーティーが開催され、各学部同窓会間の情報を共有し、大学との連携を図ることを目的として、「茨城大学同窓会連合会」が発足しました。これを契機

### 茨城大学同窓会連合会設立記念パ



挨拶する室伏勇会長



校歌演奏「本学学生サークル 吹奏楽団」

に卒業生を「茨城大学サポーター」に位置づけ、同窓会と大学間の橋渡し役となることが期待されています。また、地域社会へ開かれた大学を目指す一環としても連携・交流を活発化させ、地域社会への貢献を目指しております。

会則・役員は別掲のとおりです。

### 茨城大学同窓会連合会設立記念



橋本昌茨城県知事からのご挨拶



仕舞「高砂」を披露 多賀工業会会員  
(佐々木正祥氏・小林正典氏)

## 同窓会連合会役員

名誉会長	菊池龍三郎	(茨城大学長)
顧問	山形耕一	(茨城大学副学長)
顧問	村中知子	(茨城大学副学長)
会長	室伏勇	(文理・人文学部同窓会会長)
副会長	堀川賢壽	(教育学部同窓会会長)
副会長	鈴木昌友	(理学部同窓会会長)
副会長	寺門龍一	(多賀工業会会長)
副会長	赤塚尹巳	(農学部同窓会会長)
代表幹事	飯塚和之	(文理・人文学部同窓会幹事)
幹事	佐藤和夫	(文理・人文学部同窓会幹事長)
幹事	佐藤瑛一	(教育学部同窓会幹事長)
幹事	大橋弘三郎	(理学部同窓会常任理事)
幹事	鶴田浩一	(多賀工業会理事長)
幹事	正木武治	(農学部同窓会幹事長)
会計監事	鈴木暎一	(教育学部同窓会会計監査)
会計監事	白井誠	(農学部同窓会学内幹事)

## 茨城大学校歌 (昭和29年7月制定)

作詞：土岐善麿 作曲：平井康三郎

天地にあまねき 真理を求めて  
青春四方に 相寄るところ  
ひとしく希望の ひとみをあぐれば  
山あり海あり 河あり野あり  
踏みゆく自由の道ひろし

新たに正しき 社会に立つべく  
伝統歴史の深きを誇れ  
かざすや梅花の 薫もあふれて  
健康友情 力と意気に  
平和と文化の風清し

茨城大学われらこそぞれり  
学園われらのためにあり

茨城大学同窓会連合会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、茨城大学同窓会連合会と称する。

(目的)

第2条 本会は、茨城大学の各同窓会間の交流、連携を推進することにより、同大学の同窓生の交流、親睦を図り、併せて同大学との連携を強化し、もって、同大学の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1) 各同窓会間の交流、連携の推進
- (2) 茨城大学との連携及び協力
- (3) 各同窓会への支援及び相互間の連絡・調整
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

第2章 会員

(正会員)

第4条 本会は、次に掲げる学部等同窓会をもって正会員とする。

- (1) 茨城大学文理・人文学部同窓会
- (2) 茨城大学教育学部同窓会
- (3) 茨城大学理学部同窓会
- (4) 多賀工業会
- (5) 茨城大学農学部同窓会

(特別会員)

第5条 茨城大学の卒業生で構成される職域別同窓会、都道府県又は地域を単位として複数の学部等の卒業生が加入する地域別同窓会などの各種同窓会は、特別会員として本会に加入することができる。

第3章 役員等

(役員)

第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 4人
- (3) 代表幹事 1人
- (4) 幹事 正会員である学部等同窓会から各 1人
- (5) 会計監事 2人

(役員を選任)

第7条 会長、副会長、代表幹事及び会計監事は、学部等同窓会から推薦された者のうちから第12条に規定する総会において選任する。

(役員の仕事)

第8条 会長は、本会を代表して会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する副会長がその職務を代行する。
- 3 代表幹事は、会務の執行を総括し、事務局を統括する。
- 4 幹事は、本会と各同窓会との連絡調整を図るとともに、第12条に規定する幹事会を構成し、会務を処理する。
- 5 会計監事は、会計の執行状の監査を行う。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は、2年とし、再任は妨げない。ただし、役員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(名誉会長及び顧問)

第10条 本会に、名誉会長及び顧問を置くことができる。

(委嘱)

第11条 副会長、代表幹事、会計監事は、総会の選任に基づき会長が委嘱する。

2 名誉会長及び顧問は、幹事会の推薦に基づき会長が委嘱する。

第4章 会議

(会議)

第12条 本会の会議は、総会及び幹事会とする。

(総会)

第13条 総会は、役員をもって組織する。

2 総会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 役員（幹事を除く。）の選任に関する事項
- (2) 事業計画及び事業報告に関する事項
- (3) 予算及び決算に関する事項
- (4) 会則の改廃に関する事項
- (5) その他会長が必要と認めた事項

3 総会は、毎年 1回、会長が招集し、その議長となる。ただし、必要があるときは、臨時に招集することができる。

4 総会は、役員の仕事の過半数の出席がなければ、議事を開くことができない。

5 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、第2項第4号の議事は、総会の構成員の過半数をもって決する。

6 名誉会長、顧問及び特別会員の代表者は、総会に出席し、意見を述べることができる。

(幹事会)

第14条 本会に、学部等同窓会等との連絡調整を図るため、幹事会を置く。

2 幹事会は、代表幹事及び幹事をもって組織する。

3 幹事会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 特別会員の入会の可否
- (2) 総会に提案する議事及び会務の執行上重要な事項
- (3) 名誉会長及び顧問の推薦

4 幹事会は、代表幹事が招集し、その議長となる。

5 幹事会は、幹事の仕事の過半数が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。

6 幹事会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 名誉会長、顧問、会長及び副会長は、幹事会に出席し、意見を述べることができる。

第5章 会計

(会費)

第15条 正会員は、総会で定められた会費を納入する。

2 特別会員は、会費納入の義務を負わない。

(経費)

第16条 本会の経費は、次に掲げるものをもって充てる。

- (1) 会費
- (2) 協賛金
- (3) 事業収入
- (4) 寄附金品
- (5) その他の収入

2 本会の会計の年度は、毎年10月 1日から翌年の 9月30日までとする。

(監査)

第17条 会長は、会計の年度ごとに決算書を作成し、会計監事の監査を受けなければならない。

第6章 事務局

第18条 本会に、その会務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局は、当分の間、茨城大学総務部総務課内に置く。

第7章 雑則

(雑則)

第19条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関して必要な事項は、幹事会の議を経て、別に定める。

附 則

1 この会則は、平成18年 9月30日から施行する。

2 本会設立当初の役員は、第7条及び第11条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

- |       |                               |
|-------|-------------------------------|
| 会 長   | 室伏 勇                          |
| 副 会 長 | 堀川 賢壽、鈴木 昌友、寺門 龍一、赤塚 尹巳       |
| 代表幹事  | 飯塚 和之                         |
| 幹 事   | 佐藤 和夫、佐藤 瑛一、大橋弘三郎、鶴田 浩一、正木 武治 |
| 会計監事  | 鈴木 映一、白井 誠                    |

## 学内ニュース

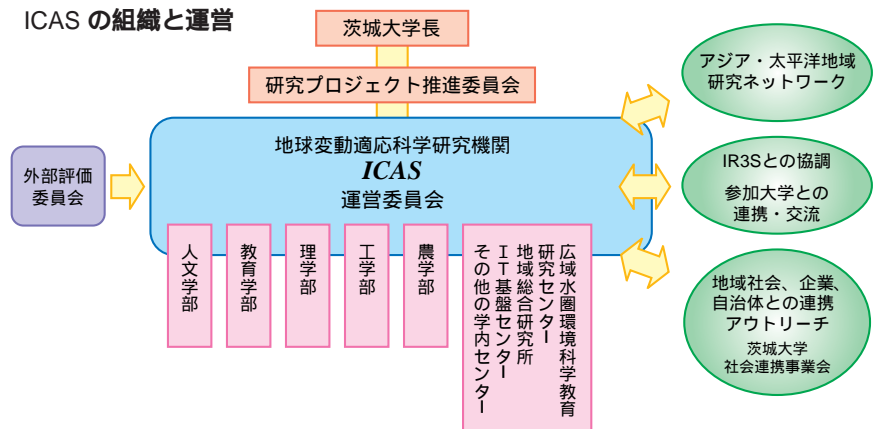
### 地球変動適応科学研究機関 (ICAS) を設置

平成18年4月から東京大学を中心とする「サステイナビリティ学連携研究機構 (IR3S)」がスタートしました。

この連携研究機構は、東京大学を基幹校に、京都大学、大阪大学、北海道大学、茨城大学が正式メンバーとして参加し、更に東北大学、千葉大学、国立環境研究所、東洋大学が協力機関として参画して、地球環境と社会の持続性(サステイナビリティ)を確保するための新しい学問の創造を目指しています。

本学は、「アジア・太平洋の地域性を生かした気候変動への適応」をテーマにその国際的な研究教育の拠点づくりを目指して「地球変動適応科学研究機関」(Institute for Global Change Adaptation Science: ICAS)を平成18年5月1日に設置しました。サステイナビリティ学に関する本学の研究者の多くが参加する、文系・理系を貫く全学横断型の研究組織として、全学を挙げた取り組みを推進しています。

ICAS の組織と運営



### サステイナビリティ学とは

「サステイナビリティ」は、「環境の世紀」と呼ばれる21世紀の最重要キーワードの1つで、「持続可能性」と訳されます。国際社会が抱える喫緊の課題を解決し、地球社会を持続可能なものへと導くビジョンを構築するために、その基礎となる新しい超学的な学術が「サステイナビリティ学」です。

### サステイナビリティ学連携研究機構 (IR3S) とは

サステイナビリティ学連携研究機構 (Integrated Research System for Sustainability Science: IR3S)は文部科学省科学技術進行調整費(戦略的研究拠点育成)によって平成18年から21年度の4年間行うプロジェクトです。その後の継続も計画されています。

## 事務局だより

### 茨城大学ロゴマークについて



茨城大学ロゴ・マークは、「校章」とは別に茨城大学の広報・宣伝活動のシンボルとして作成しました。

このロゴ・マークの制作意図及び制作者は次のとおりです。

- ・制作意図：『茨城大学のイニシャル“ I ”の小文字をモチーフとし、できるかぎりシンプルな造形として「学問の灯」を表現し、単純明快ながら大学らしさを表現したものです。』
- ・制作者：佐藤 晃一氏 (佐藤晃一デザイン室)

## 編集後記

昨年9月の連合会発足から、はやくも半年、遅ればせながら、会報・創刊号をお送り致します。それぞれ、発足の時期や運営形態を異にする個性ある5つの同窓会ですが、茨城大学という土壤に生まれ育ち、大学・後輩を愛するという一点では、一致しております。連合会は、各同窓会間の架け橋となり、茨城大学発展のため尽くせればと念じております。

創刊号は、設立総会・パーティの様子を中心に、役員名簿、規約を掲載し、当連合会の概要をご理解いただけるような誌面としてみました。(K.I)

茨城大学同窓会連合会事務局 (総務課内)  
水戸市文京2-1-1 TEL 029-228-8007

茨城大学 HP <http://www.ibaraki.ac.jp>  
同窓会連合会 HP <http://www.ibaraki.ac.jp/rengou/>